

# 駿河台大学 NEWS

SURUGADAI UNIVERSITY

3.18  
2023  
VOL.241

Happy graduation day!

# 学部長・研究科長から卒業生へのメッセージ

—ご卒業を心よりお祝い申し上げます—

3月18日(土)本学体育館において、第33回学位記授与式が執り行われます。

式典では、同窓会長のご祝辞を賜り、現代文化学部菅野宙斗さん(豊南高校出身)が答辞を述べます。式典終了後、各教室に分かれ卒業生一人ひとりに学位記・卒業証書が授与されます。

卒業生の皆さんの新たな道への門出を心より祝福いたします。

## 新たなる旅立ちへ

法学部長 黒田 基樹



ご卒業、おめでとうございます。  
みなさんの大学生活も、この卒業式をもって終わりをむかえることとなります。これまでの4年間で、勉学や様々な活動を通じて、みなさんは大きく成長されたことと思います。みなさんにとってこの4年間は、おそらくこれまでのなかで最も充実した日々であったに違いないと思います。社会に出ても、大学生活のなかで得た学び方をもとに新たな学びに取り組み、自分自身の考えをもって立ち向かっていかれることを期待しています。

## 新しい勉強を始めましょう

経済経営学部長 野田 裕康



ご卒業おめでとうございます。  
皆さんは大学で多くのことを学ばれたと思います。教室で本を読み調べ、話を聞き議論するだけが勉強でないことはもうご存じでしょう。長い人生の中で物事を解決していくため、一つ一つ積極的に行動を起こすこと自体が勉強なのです。結果として失敗し、再度繰り返すことになっても、それは新たな勉強の始まりなのです。何事においても果敢に勉強してみてください。皆さんのご活躍を祈念しております。

## 社会へ巣立つ皆さんへ

メディア情報学部長 斎賀 和彦



ご卒業おめでとうございます。  
コロナ禍もあり、大学生活を存分に謳歌できず不完全燃焼の思いが残るひとも多いと思います。それでも皆さんは社会へ巣立っていかなくてはなりません。けっして楽しいことばかりではないでしょう。それでも懸命に、あるいはマイペースに、自分の人生を生きて欲しいと思っています。そしてふと思い出したとき、立ち寄り場所としての母校を守りたいとわたしたちは思っています。今度はOB・OGとして逢いにきてください。

## 感動のある人生を

現代文化学部長 吉野 貴順



約3年に渡るコロナ禍の中、我々は皆さんに本来あるべき大学教育を十分に教授できたでしょうか？しかし、少なくとも皆さんは本学部の教育の集大成として、公開の場での研究発表を含む卒業研究を通常どおり完遂しました。きっと大きな達成感や充実感を味わったのではないのでしょうか？

何事もそうだと思いますが、努力の度合いが大きければ大きい程、感動や達成感は大いいものです。どうか皆さんのこれからの人生が、沢山の感動に満ちたものでありますように！

## 大きな目標が人生を豊かにする

心理学部長 岩熊 史朗



ご卒業おめでとうございます。  
皆さんの中には、大学4年間の目標を達成し、今、喜びを噛みしめている人がいると思います。しかし、本当の幸福は、目標を達成したゴールにあるのではなく、目標を達成するまでの過程にあります。その過程において人間は、苦難に果敢に立ち向かい、自分の能力をフルに発揮します。そして、生きていることを強く実感することができます。皆さんも、豊かで意味のある人生を送るために、価値ある大きな目標を見つけ、一生をかけてそれに取り組んでください。

## 大切なのは学び続けること

大学院 総合政策研究科長 村越 一哲



大学院修了、学部卒業、おめでとうございます。みなさんは在学中、授業や学内外の様々な活動をとおして、もの見方や考え方を広げ、専門的な知識や高度な技術などを習得したことでしょう。身に付けた力を社会で役立ててください。同時に、社会に出ても知的好奇心を持ち続け、新しいことに挑戦してください。社会が求める能力が変化してゆくなか、学びの継続が活躍の場を広げてくれるはず。みなさんのさらなる飛躍を期待しています。

## 自分らしい人生を

大学院 心理学研究科長 古曳 牧人



御卒業おめでとうございます。  
新型コロナウイルスの感染拡大は、皆さんの学生生活にも大きな影響を及ぼしたと思いますが、いろいろなことが「できない」中で、今まで「当たり前」だったことの意味を考え、自分にとって大切なものに気付く機会にもなったのではないかと思います。これからも様々なことを経験していくと思いますが、その中で考え、自分らしい人生を歩んでいってほしいと願っています。皆さんの活躍を心よりお祈りいたします。

# 事務局からのお知らせ

## —卒業(修了)後の各種サービスについて—

駿河台大学では以下の通り、卒業生向けの提供サービスもあります。ご利用をご希望される方は、お気軽にお問い合わせください。また、その他駿河台大学の最新情報、卒業生向けの情報は、HPで発信していますので、ご確認ください。

### ■ 証明書申込みについて

窓口または郵送での申し込みで、証明書の発行が可能です。

詳しくは、駿河台大学同窓会ホームページ内、「証明書/シラバス複写」→「証明書の申込方法」をご覧ください。

問い合わせ先：駿河台大学同窓会事務局(学生支援課) TEL 042-972-1101

### ■ メディアセンターの利用について

卒業後も、次の方法でメディアセンターを利用することができます。

4月以降、メディアセンター1階総合受付にて本人が確認できる書類(運転免許証等)を提示の上、所定の申請書を提出してください。仮利用証を即日発行します。申請後、1週間以降に、仮利用証を卒業生用の正式な利用証と交換します。

利用できる期間は、申請日から当該年度の3月末日までです。翌年度も利用を希望する場合は、再申請が必要となります。利用範囲は、図書エリア内の資料の閲覧・複写、検索パソコン及び閲覧席利用(個室・学習室を除く)、本学ゲストWi-Fiの利用です。詳細はメディアセンターのホームページよりご確認ください。

問い合わせ先：メディアセンター(学術情報課) TEL 042-972-1171

### ■ キャリアセンター利用について

#### ◆ 既卒生向け求人票コーナー・掲示板

既卒生対象の求人票をキャリアセンター内資料室の求人票コーナーにて公開しています。また、既卒生向けの各種イベント情報なども掲示しています。

#### ◆ 就職支援システムの利用

卒業後1年間は「就職支援システム(Job Hunter+s)」の利用が可能です。求人票をはじめ、採用実績、企業の採用担当者からの固有情報など、本学独自の情報を知ることができます。学外からのアクセスも可能です。ログイン時のID・パスワードは在学中に使用していたものを入力してください。



▲卒業生限定キャリアセンターLINE

#### ◆ 個別相談

キャリアセンター職員による就職相談をはじめ、書類の添削や模擬面接など、就職活動をしている卒業生の個別相談を受け付けています。来室予約は不要ですが、スムーズな対応を行うためにも事前にご連絡いただくことをお勧めします。また、オンラインによる面談も可能ですので、お気軽にお問い合わせください。

#### ◆ 資格取得講座「キャリアカレッジ」

社会に出ると資格取得や知識・能力の向上が求められます。本学で開講するキャリアカレッジは、卒業後も受講できます。詳細は「資格取得講座キャリアカレッジ・公務員合格講座」パンフレットをご覧ください。



◀キャリアセンター卒業生ページ

問い合わせ先：キャリアセンター TEL 042-972-1131

### ■ 披露宴祝電サービス

卒業生の皆様の晴れの日に、母校の理事長・学長・学部長がお祝いのメッセージ(祝電)をお贈りいたします。詳細は駿河台大学ホームページ内、「卒業生の方へ」→「披露宴祝電サービス」をご覧ください。

問い合わせ先：経営企画課 TEL 042-972-1135

- 調査目的：学生の生活状況や要望を把握し、今後の学生支援の向上や施設・設備面の改善に役立てるため、毎年10月に全学生を対象に実施
- 実施期間：2022年10月10日(月)～11月30日(水)
- 調査対象：全学部・全学年の学生4,239名 ■回答総数：2,119名(回答率50.0%)
- 回答者基本属性：2,119名
- 【学部別内訳】法学部 653名 経済経営学部 419名 メディア情報学部 274名 現代文化学部/スポーツ科学部 456名 心理学部 317名
- 【学年別内訳】1年生 650名 2年生 626名 3年生 494名 4年生 349名
- 調査方法：全学年ゼミ(演習)の授業の中にc-learnigシステムで回答を依頼



本誌面では、調査設問項目の内、「学生の学修時間やアルバイト、課外活動などの実態」を中心とした報告となります。

## 学修時間(週平均)の実態

2022年秋学期からは全ての授業科目が原則対面授業となった中、2022年の学修時間の調査では、授業以外での週平均学修時間(図1)は、2022年では全学部で「0分」が12%、「30分未満」が12%、「30分～1時間」が19%と、1時間以内の割合が全体の43%となっています。

コロナ禍前2019年の1時間以内の割合が全体の57%であったことと比較すると、2022年の1時間以内の割合は低くなっていますが、2020年の23%、2021年の30%と比較すると、逆に2022年の割合が高くなっています。2020年・2021年では「オンライン授業での課題取組などに要した時間が増えた」ことが学修時間増加の要因として挙げられていましたが、2022年は対面授業が増えたこと、またコロナ禍での行動制限が段階的に緩和されたことで、課外活動やアルバイトなどに要す時間が増えた結果、学修に割く時間が減少したのではないかと考えられます。

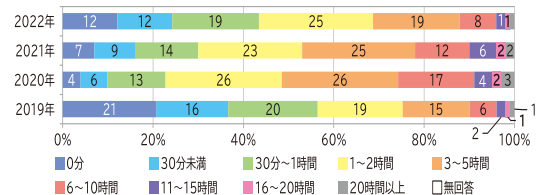


図1 授業以外での週平均学修時間(2019-2022年)

## アルバイトの実態

長期休業期間以外の週平均アルバイト時間(図2)は、コロナ禍によりアルバイト先の営業自粛や時短営業、休業などの影響もあり、アルバイトを「していない」と回答した割合は2020年では44%、2021年では36%と高い水準でしたが、2022年では「していない」割合が28%となりコロナ禍前の2019年の割合と同水準でした。この結果は、2022年ではアルバイト先の営業通常再開なども増えたことなど、学生アルバイト募集の求人も回復しつつあったものと考えられます。

学部別の週平均アルバイト時間(図3)を見ると、アルバイトを「していない」と回答した割合が最も高かったのはメディア情報学部の33%で、次いで、現代文化/スポーツ科学部、心理学部の31%、法学部の26%となっており、アルバイトを「していない」割合が一番低かったのは経済経営学部の23%でした。一方、週平均のアルバイト時間数で8時間以上(「8時間以上16時間未満」+「16時間以上24時間未満+24時間以上」)と回答した割合が最も高かったのは、経済経営学部の64%で、次いで、法学部の60%、メディア情報学部、心理学部の57%と続き、割合が一番低かったのは現代文化/スポーツ科学部の55%でした。現代文化/スポーツ科学部の学生は、運動部に所属している割合が高いこともあり、アルバイトに割く時間が他学部の学生より少ないことが要因のひとつとして考えられます。

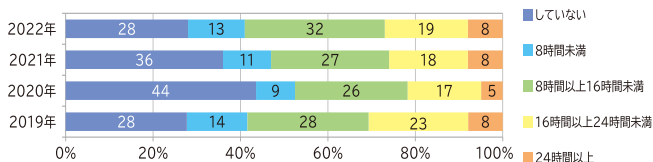


図2 長期休業期間以外の週平均アルバイト時間(2019-2022年)

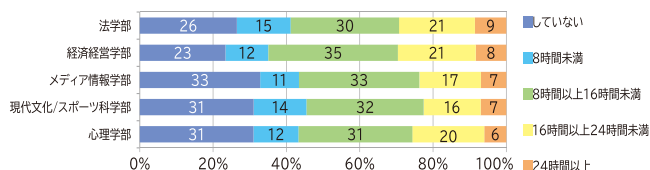


図3 長期休業期間以外の週平均アルバイト時間(2022年・学部別)

## 課外活動の実態について(運動部・サークルの所属有無)

2022年の運動部(部活動)・サークルの所属有無(図4)では、全体で「運動部(部活動)」が26%、「サークル」が21%、「所属していない」が54%でした。学部別では「運動部(部活動)」に所属している割合は、現代文化/スポーツ科学部が65%と圧倒的に高く、次いで法学部の21%、経済経営学部の16%、心理学部の7%と続き、一番低い学部はメディア情報学部の5%でした。

一方、学部別での「サークル」に所属している割合では、メディア情報学部の32%が最も高く、次いで心理学部の30%、法学部の21%、経済経営学部の18%と続き、一番低い学部は現代文化/スポーツ科学部の9%でした。また、運動部(部活動)、サークルのどちらにも所属していない割合が一番高かったのは経済経営学部で65%でした。

学年別での2022年の運動部(部活動)・サークルの所属有無(図5)では、運動部(部活動)、サークルのどちらにも所属していない割合が、3年次・4年次で64%と高く、コロナ禍による入構制限や課外活動の制限期間があったことなどが大きく影響した年次であることも見て取れる結果とも言えます。

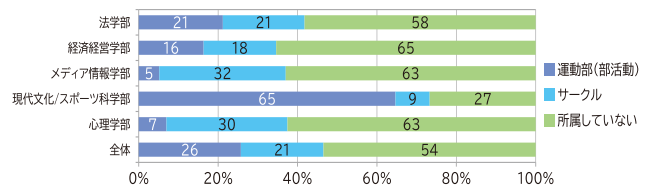


図4 課外活動(部活動・サークル活動)所属(2022年・学部別)

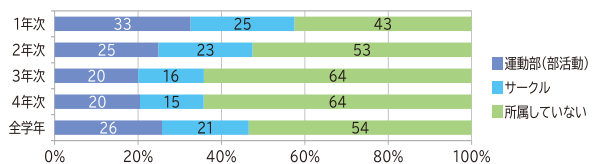


図5 課外活動(部活動・サークル活動)所属(2022年・学年別)

※その他の設問項目の調査結果は、大学公式HPの『2022年度学生生活基本調査報告』で確認することができます。

コロナの完全な収束に至っていない現状の中、引き続き、学生の安全面及び健康面を第一に考え、今後の学生生活の満足度向上や施設・設備の改善など、今回の調査結果(学生の実態や要望・意見など)なども踏まえ検討していきたいと思えます。

## キャリアセンターより from the Career Center

# 公務員試験合格報告会 を開催しました

2022年12月21日(水)、市役所職員、警察官、消防官などの公務員試験に合格した4年生による「公務員試験合格報告会」が開催されました。



合格者からの筆記試験対策、面接試験対策、おすすめの勉強法やテキストなどの報告の後、公務員試験合格を目指す在學生にメッセージをいただきました。本報告会の模様を収めた動画を、駿大生限定で公開しています。ポータルサイト「ポタロウ」から視聴することができますので、ぜひご覧ください。

**小泉 賢人** 法学部4年(写真左)

栃木県立大田原高校出身

進路決定先 大田原市役所

早起きする習慣を身につけることで、勉強時間を多く確保できました。勉強計画を1週間単位で作成し、毎日進捗状況を評価することが達成感につながるのお勧めです。

**大平 凜** 法学部4年(写真中央)

新潟県立小出高校出身

進路決定先 飯能市役所

面接試験では、飯能消防団や防犯リーダーの活動について質問されました。勉強は継続的に、早めから準備をしておくこと、そして息抜きをしっかりすることが大切です。

**岩井 康弘** 法学部4年(写真右)

埼玉県立坂戸西高校出身

進路決定先 埼玉西部消防組合

大切なことは心にゆとりをもたせることです。ルーティンを確認させることで勉強に身が入りやすくなる他、試験時の立ち回り方等を考えておくことで本試験で自分の力を発揮できると思います。

メディア  
センター  
より

from the Media Center

## ロッカーサービスを開始します

メディアセンターで調べものやPCを使用する際に、「この荷物、預けられたら楽なのに」と思ったことはありませんか？

4月より、メディアセンターの入退館ゲート手前にロッカールームを設け、コインロッカーの利用サービスを開始します。

100円硬貨が  
必要ですが  
使用後に  
戻ります

### 〈コインロッカー使用上の注意〉

- \*利用の際には必ず施錠してください。施錠するには100円硬貨が1枚必要になります。硬貨は使用後に返却口に戻ります。
- \*利用できるのは、当日のメディアセンター開館時間内です。
- \*貴重品や現金、生物や冷凍冷蔵品等は預けることができません。
- \*万が一ロッカーの鍵を紛失した場合は、メディアセンターの職員にご連絡ください。その際、シリンダーを交換することになりますので、実費負担となります。
- \*ロッカー点検のため開けることがあります。ご了承ください。



# グローバル教育センターより from the Global Education Center

## 激ムズ?? 意外とイケる?? TOEIC受験者に聞きました!

スポーツ科学部2年生の石田 北飛さん(東京都立紅葉川高校出身)が、今年度TOEICに挑戦し、815点の高得点をマークしました。きっかけはコロナ禍の外出制限でやる事が無かったからと語る石田さんに、勉強法などについてインタビューしました。

インタビュアー：須永隆広(グローバル教育センター助教、英語担当)



Q. まず、数ある資格試験の中でなぜTOEICを選んだのでしょうか?

A. TOEICは日本の企業で多く活用され、英語を学ぶと同時に就活でも活かしたいと思い選びました。

Q. 挑戦を始めた時、基礎的な英語力はどの程度でしたか?

A. おそらく中学1年生程度でした。単語も一般的なものしか覚えておらず、TOEICのような少し上級の単語などは全く知らないレベルでした。



Q. 何から始めましたか?

A. いきなりTOEIC自体の勉強を始めようとしたのがかなり難しく、まずは中学の文法を完璧にすることから始めました。そのあとに高校の文法を覚え、文法をきちんと理解したうえで、そこから本格的にTOEIC対策に移行しました。

Q. 1日に何時間くらい勉強しましたか?

A. 基礎を勉強しているときは6時間ほど勉強し、つまらなくなるないように洋画をたくさん見て1日中英語に触れる環境を作りました。今でもその環境作りは継続していて、今はマーベルの映画にはまっています! TOEICの勉強をしているときは、4時間ほどでした。基本的にはリスニング1時間、リーディング1時間、文法の基礎を1時間、単語を30~40分という配分でした。

Q. どのような教材を使用しましたか?

A. 文法の勉強はYouTubeでの「ただよびベーシック文系」のもりてつ先生の動画をひたすらみてノートにまとめました。文法の教材が書店などに売っていますが、この動画でコンパクトに説明されていたため、英語が苦手な人や初心者にはかなりおすすめです! TOEICに関する教材は最初に「はじめて受けるTOEIC L&Rテスト全パート完全攻略」から始めました。そのあと公式問題集を使い、問題を覚えるまでやりこみました。そのほか、花田先生の文法特急や、銀フレ、金フレといった単語帳も使っています。最初はいろんな教材に手を出さず、公式問題集や少しの参考書で対策することがおすすめです!

Q. インタビュの面接でも、TOEICのことを話せたと聞きましたが、具体的にどのようなアピールができましたか?

A. まず自分の苦手な分野にも関わらず平均点以上の成果を出したこと。そして、くじけそうになってもやり抜き通したこと。特に2つ目は、インターンではスキルを求められてはいないため、意気込み、やる気を十分にアピールできたと思います。



インタビューの全文は、グローバル教育センターのホームページ(<https://www.surugadai.ac.jp/lec/>)に掲載しています。



### インタビュアーより

石田さんがTOEICを始めた当初は「英語が全く分からなかった」とのことでしたが、春学期の終わりには755点を取得しました。履修免除となった秋学期ですが、授業最終日には815点を取得したことを知らせに教室にきてくれました。そのときに聞いた「文型にはまりました」という言葉はとても印象的でした! やはり、なんでも強みを持つことが成功の秘訣なのではないでしょうか。ぜひ、みなさんも、第2、第3の石田さんを目指して頑張ってください。一緒にハイスコアを目指していきましょう。

## SUNDAI SPORT Information



## 卒業生アスリートインタビュー 神奈川フューチャードリームス入団 武内選手

11月17日(木)に開催されたルートインBCL 2022ドラフト会議において、プロ野球独立リーグの神奈川フューチャードリームスの特別合格選手となった武内勇賢選手(現代文化学部4年)にインタビューしました。武内選手は神奈川県出身。静岡県の磐田東高校から本学へ。右投左打の外野手で、小柄ながらパンチの効いた長打力で、4年生には5番打者をつとめました。アスリートとして一段とフェーズが上がる世界での飛躍が期待される武内選手に話を聞きました。



## -特別合格選手となって

素直に嬉しい。地元が神奈川県なので、フューチャードリームスに入団できて良かったです。

## -野球を始めたきっかけ

3歳の頃より始め、年少の時にはチームに入っていました。母が中高とソフトボールをやっていた影響で、自然と始めていました。

## -駿河台大学を選んだ理由

教職資格が取れることと、野球の環境が整った大学を探しました。入学前に練習に参加させていただき、その設備に惹かれて駿河台大学に決めました。

## -入学して

部員数が多かったのが、埋もれてしまわないか不安でした(当時の新入部員数は約60名)。少ないチャンスでどうアピールするかを考えました。

それまではレギュラーでいることが多かったのが、途中出場や代打の経験がなく、慣れない環境に戸惑いました。高校時代は、代打で起用された選手が、振らずにアウトになったりすると複雑な思いを持ちましたが、いざ自分が同じ立場になると、その気持ちが分かりました。

## -コロナ禍でシーズンが中止に

2年生の時は、チームでの練習もほぼできない1年でした。それを理由に辞めていく人もいましたが、私は個人練習に励み、当たり前のことをやり続けました。

3年生になり、徐々に活動が再開してきました。アルバイトを辞め、一層野球に集中しました。その甲斐あって、春の入替戦で3本のホームランを打つことができ自信になりました。4年生になると、5番打者として常時試合に出るようになりました。

## -今まで一番記憶に残る試合

高校2年夏の大会の初戦(シード校のため2回戦)です。3回までで14対2で負けていた試合を、コールド負けを阻止しようとチーム一丸となった結果、ついに同点に追いつき、延長10回に自分のライトオーバーのサヨナラ打で勝利しました。あの試合のことは生涯忘れません。

## -これからについて

今まで通り、当たり前のことをやっていきます。大学と同じように、少ないチャンスを活かしてレギュラーを勝ち取りたいです。そして、NPBへ行きたいです。NPBは子供の頃から一度も忘れたことのない夢です。

## -アピールポイント

バッティングです。野球選手としては小柄かもしれませんが(171cm)、球を速くに飛ばす長打力、強い打球を打つ力には自信があります。

一活躍を期待しています。頑張ってください。



## — 駿河台大学へのご支援(ご寄付)について —

本年度も本学の教育研究に対し、深いご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。本学は、「駿河台大学憲章」に掲げるとおり、学生一人ひとりの多様な個性と夢を尊重した教育を基盤としており、常に学生の主体的な学びを支援できる教育機関として、より充実した教育環境の整備、課外活動への支援等に取り組んでおります。

ご支援賜りました寄付状況のご報告とともに、心より感謝申し上げます。大学発刊物にて、ご支援いただきました皆様のご芳名を掲載させていただきます。

駿河台大学のさらなる発展のため、今後とも皆様からの温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2022年度  
募金状況のご報告  
(2022年2月～2023年1月)

ご寄付者		寄付金額
個人	のべ80名	2,662,000円
法人	のべ3社	850,000円

- ・本学へのご寄付は、所得税制上の優遇処置を受けることができます。
- ・確定申告を行うことで、寄付金控除により減税となります。詳細は、本学ホームページをご確認ください。

※「教育振興資金募金」「スポーツ振興支援募金」「箱根駅伝応援募金」の合計

## 申込方法

## ■インターネットによるお申込み

「駿河台大学 寄付」で検索、または駿河台大学ホームページ⇒「寄付・ご支援をお考えの方へ」のページをご覧ください。

※「スポーツ振興支援募金」を選択すると、特に支援したい運動部を指定して寄付することが可能です。いただきました寄付金はご指定の運動部で活用させていただきます。

## ■振込用紙によるお申込み

Tel **042-972-1191**  
(財務課 9:00～17:00 ※日曜日を除く)

E-Mail **zaimu@surugadai.ac.jp**

ご氏名とご住所をお知らせください。専用の振込用紙をお送りいたします。

# 2022年度 答辞・総代・各賞受賞者一覧

## 答 辞

現代文化学部 菅野 宙斗 (豊南高校出身)

## 総 代

総合政策学科 法学専攻(大学院)

川崎 晋

総合政策研究科 経済・経営学専攻(大学院)

ZHU JUAN

総合政策研究科 メディア情報学専攻(大学院)

吉田 佳純

心理学研究科 臨床心理学専攻(大学院)

長谷川 千陽

心理学研究科 犯罪心理学専攻(大学院)

飯野 綾花

法学部

大平 凜 (新潟県立小出高校出身)

経済経営学部

水谷 明日美 (東京都立清瀬高校出身)

メディア情報学部

生井 千晴 (埼玉県立久喜高校出身)

現代文化学部

前澤 明日香 (埼玉県立朝霞西高校出身)

心理学部

廣瀬 良菜 (埼玉県立秩父高校出身)

## 優秀賞

法学部

前田 苑美 (埼玉県立寄居城北高校出身)

経済経営学部

比嘉 清香 (沖縄県立浦添高校出身)

メディア情報学部

金田 大河 (茨城県立取手第二高校出身)

現代文化学部

LE QUANG ANH (留学生)

心理学部

鈴木 風花 (東京都立石神井高校出身)

## 菩提樹賞

※学業において優秀な成績をおさめた学生・その他の知的な活動において顕著な実績をおさめた学生へ贈られる賞。

法学部

岩井 康弘 (埼玉県立坂戸西高校出身)

榎戸 麻衣 (東京都立青梅総合高校出身)

遠藤 隼 (東京都立東村山西高校出身)

岸澤 孝亮 (埼玉県立朝霞西高校出身)

小林 徹 (埼玉県立坂戸西高校出身)

佐藤 正幸 (クラーク記念国際高校出身)

佐野 葵 (静岡県立富士宮西高校出身)

高柳 未来 (群馬県立伊勢崎高校出身)

橋本 裕輝 (新潟県立新潟江南高校出身)

経済経営学部

荒 俊輝 (日本工業大学駒場高校出身)

岩井 彩夏 (埼玉県立川越南高校出身)

WANG ZHONGLONG (留学生)

岸 晴菜 (東京都立秋留台高校出身)

木村 勇太 (さくら国際高校出身)

砥上 陽帆 (東京都立大泉桜高校出身)

畑 愛香 (福島県立相馬高校出身)

平沼 祐哉 (埼玉県立入間向陽高校出身)

メディア情報学部

佐藤 里南 (埼玉県立所沢西高校出身)

中村 亮輝 (埼玉栄高校出身)

根岸 桜 (埼玉県立寄居城北高校出身)

波多野 怜央 (東京都立拝島高校出身)

古谷 明李 (神奈川県立上溝南高校出身)

本間 来瑠美 (東京女子学院高校出身)

現代文化学部

五十嵐 玲奈 (新潟県立巻高校出身)

神津 咲花 (東海大学菅生高校出身)

豊泉 大輝 (東京都立昭和高校出身)

増田 祥大 (福岡県立小倉東高校出身)

松田 周磨 (群馬県立伊勢崎高校出身)

梁瀬 珠里 (埼玉県立芸術総合高校出身)

山田 笑実 (佐賀県立佐賀北高校出身)

心理学部

伊東 さくら (桐光学園高校出身)

今村 桃菜 (栃木県立足利女子(現・足利)高校出身)

大川原 秀真 (福島県立あさか開成高校出身)

笠原 ゆきね (長野県岡谷東高校出身)

新保 真子 (東京都立第五商業高校出身)

## 特別賞

※課外活動において、本学の名声を高め、かつ学生の模範となる努力・チャレンジをし、顕著な実績をおさめた学生へ贈られる賞。

スポーツにおける活躍

法学部

清野 太成 (駒込/埼玉県立飯能南高校出身)

出仙 龍之介 (駒込/福井県立鯖江高校出身)

メディア情報学部

竹村 明日香 (ユニバーサルホッケー/品川女子学院高等部出身)

現代文化学部

明石 昂樹 (陸上/武南高校出身)

飯法師 咲帆 (ホッケー/北海学園札幌高校出身)

小笠原 玲菜 (ホッケー/埼玉県立飯能高校出身)

勝 優虎 (陸上/川口市立高校出身)

小泉 謙 (駒込/開志国際高校出身)

児玉 楓夏 (陸上/秋田和洋女子(現・秋田令和)高校出身)

小針 涼葉 (陸上/富士市立高校出身)

志賀 優晟 (陸上/埼玉栄高校出身)

杉田 諒 (陸上/川口市立高校出身)

鈴木 聖菜 (陸上/浜松市立高校出身)

永井 竜二 (駒込/武蔵越生高校出身)

町田 康誠 (駒込/白鷗大学足利高校出身)

文化的活動等の各方面における活躍

法学部

清野 寛斗 (資格取得/埼玉県立所沢中央高校出身)

小泉 賢人 (選挙サポーター/栃木県立大田原高校出身)

吉田 汐璃 (法学部女子会/福島県立郡山東高校出身)

川島 亜深 (法学部女子会/埼玉県立深谷第一高校出身)

北上 春香 (法学部女子会/中越高校出身)

坂本 璃音 (法学部女子会/東京都立武蔵村山高校出身)

メディア情報学部

黒崎 穂香 (文化活動(映像制作)/栃木県立宇都宮南高校出身)

波多野 怜央 (文化活動(映像制作)/東京都立拝島高校出身)

心理学部

中村 凜架 (心理学検定/東京都立東大和南高校出身)